

平成24年度大阪市立図書館の目標について[振り返り]

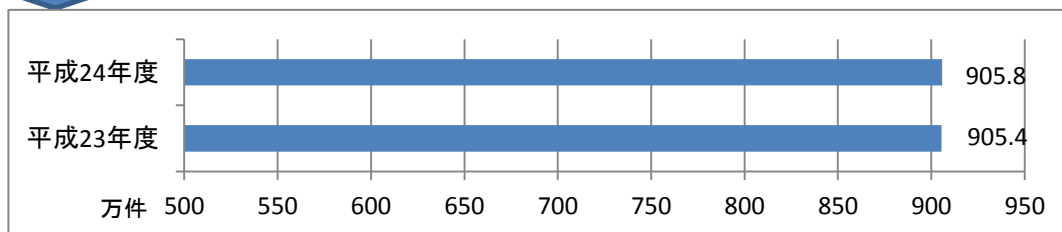
基本目標:「いつでも、どこでも、だれもが課題解決に必要な情報にアクセス可能な“知識創造型図書館”」を基盤とし、さらなる発展と再構築をめざす。

地域の情報活用基盤として調査相談機能の高度化などにより市民の利用を促進し、誰もがいつでも情報や知識を活用して創造性・生産性を高めることができるように支援する。また、子どもの読書活動の相談・支援センターとして、学校や地域と連携して子どもの心と創造力を育む読書活動を市民との協働により効果的に推進する。

【重点目標】

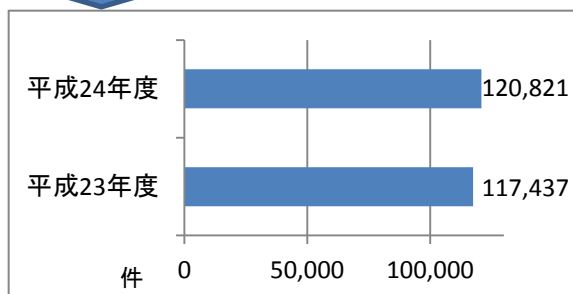
成果目標

図書館への来館者数と図書館ホームページ(トップページ)アクセス件数の合計数を前年度より増加させる



業績目標

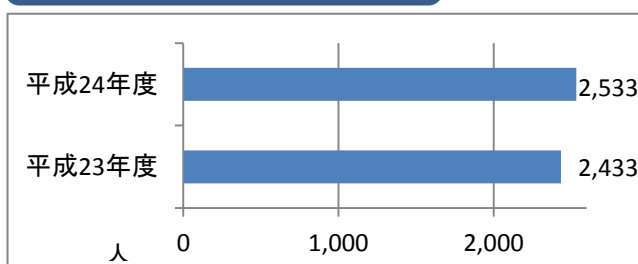
商用データベースについて、広報や活用講座・データベース検定の開催を通じて周知を図り、総アクセス件数12万件をめざす



- ・幼稚園や保育所、高齢者福祉施設で活動する読書支援活動ボランティアを対象に、ステップアップ講座を継続して実施する
- ・すべての区において、読書支援活動ボランティアの情報交換や連携・協力が進むよう、交流会や情報交換会を実施する

- ・ステップアップ講座 5回実施(前年度5回実施)
- ・ボランティア活動支援のための交流会 64回開催(前年度28回実施)

【参考】登録ボランティア人数



1. 知識を創造する図書館へ

図書館を地域の総合的な知識情報活用基盤として、その利用条件を整備する地域の情報拠点化施策の推進

取組項目	具体的取組	指標・目標値	実施状況	評価
高度なレファレンス(調査相談)・情報サービス・情報発信機能 課題解決支援	・商用データベースの利用促進 ・電子書籍の利用促進	・商用データベースアクセス件数12万件 ・電子書籍アクセス件数前年度比増	・夏期に誕生日の新聞を調べる商用データベース検定実施 中央図書館1階エントランスでパネル展示実施 講座「デジタルで辞書を楽しむ」(10/20)実施 商用データベースアクセス件数120,821件(前年度比2.9%増) ・講座「電子書籍で辞書を楽しむ」(10/21)を実施 電子書籍アクセス件数 21,133件(前年度比70%増)	○
	・ビジネス講座の充実 ・館内利用者用検索機使い方講座の実施 ・メールレファレンスの利用促進 ・レファレンス事例公開	・ビジネス講座実施件数の増 ・使い方講座の継続実施 ・メールレファレンス受信件数前年度比増 ・レファレンス事例公開件数の増	・ビジネス講座及び関連講座10回実施(前年度9回実施) ・講座「デジタルで辞書を楽しむ」のなかで検索機の使い方を説明 本市職員向け庁内講座 2回実施 ・メールレファレンス受信件数66件(前年度比9.6%減) ・レファレンス事例公開件数955件(前年度比16.9%増)	○
図書館資料の充実	・参考図書や基本図書など市民の課題解決に役立つ資料を継続して収集	・参考図書、基本図書の充実	必要な参考図書、基本図書を積極的に購入(24年度2,162冊購入 前年度購入比35.9%増)	◎
	・地域資料を収集・整理して提供、保存	・収集分の整理促進	地域資料の積極的な収集・提供を実施(181,133冊 前年度比2.5%増)	
	・資料のデジタル化を継続して行い公開	・年度内に公開	古文書等の計画的なデジタルデータ化を実施し継続公開(28,704件公開中)	
	・調べ学習や読書活動支援のための図書の充実	・継続して収集	調べ学習支援等の児童図書を継続整備(448セット 前年度比17%増)	

多文化サービスの展開	・市民と協働しての外国とつながりのある子どもたちが参加できる企画事業の実施	・外国語の絵本展開催(9月)	・おおさかこども多文化センターによる「えほんのひろば」(9/8、9)を支援 ・「いろんなことばのおはなし会」5回実施(前年度4回) 12/2講座「国際交流こども版 いろんな国のくらしとあそび」実施	○
市民への広報の拡充	・広報媒体の効果的活用	・来館者数の増	図書館からのお知らせやイベント情報を、ホームページやチラシ等で周知(6,371,126人 前年度比0.02%増)	○
	・新たな情報発信サービスとしてツイッターの活用	・ツイッターサービス開始(10月)	・10/1よりツイッター発信開始。3月末までに中央図書館の催し 109件、地域館の催し91件等299件発信	
	・自動車文庫の広報拡充	・自動車文庫貸出冊数の前年比増	・区広報への巡回予定掲載依頼を引き続き行い掲載回数を増加させた 自動車文庫貸出冊数(333,441冊 前年度比0.7%増)	○

2. 人と、心を育てる図書館へ

図書館を各区の子どもの読書相談支援センターとして、子どもの読書推進施策の企画、学校、地域、市民との連携事業の企画調整等を行なう

取組項目	具体的取組	指標・目標値	実施状況	評価
子ども読書活動の推進	・「第2次大阪市子ども読書活動推進計画」の策定	・第2次計画案の策定 ・パブコメ実施	・1/15～2/12第2次計画(素案)にかかるパブリックコメント(受付通数15通 意見件数69件)を実施し、3月策定	○
	・大阪市子どもの読書推進連絡会の開催	・大阪市子どもの読書推進連絡会の定例開催	・10/12大阪市子どもの読書活動推進連絡会を開催 ・2月～3月 各区の子どもの読書活動推進連絡会を開催	
	・学校への団体貸出や調べ学習支援、学校図書館活性化支援と各種連携メニューの豊富化	・団体貸出数の前年度比増 ・体験学習生の受入れ	・一斉読書用の団体貸出セットの提供、小学校での学校通送便を活用した団体貸出の実施 学校への団体貸出冊数 69,436冊(前年度比 22.2%増) ・体験学習生の受入れ 108件(前年度比11.3%増) ・学校図書館へ出向いての図書館活動支援 13校	◎

子ども読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・中高校生の利用を増やすための各種催しや企画展の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・中高生向きの新たな催しや企画展等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 12/22「第1回書評漫才グランプリ in Osaka」実施(府下の高校生7組14人が、3分間で書評漫才を競う) ・ヤングコーナーでの定期的な資料展示実施 	○
	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア養成講座の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・登録ボランティア2,400人～2,500人継続維持 	<ul style="list-style-type: none"> 幼児期図書ボランティア講座12回、ブックスタート入門講座2回実施、ボランティア数の維持に努めた(読書支援活動ボランティア2,533人登録 前年より100名増) 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアステップアップ講座や交流会、情報交換会等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ステップアップ講座を2回講座以上実施 ・全区でボランティア交流会および情報交換会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所・幼稚園等で活動する読書支援活動ボランティアを対象としたステップアップ講座を3回実施し、228名が受講 ・全区でボランティア交流会を開催 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期読書環境整備事業の一層の周知と継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・貸出冊数の前年比増 ・ボランティア派遣回数維持 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の幼稚園、保育所、子育て支援施設など362施設に年1回約4カ月間貸出 貸出冊数40,794冊(前年度比13.5%増) ・市内の幼稚園、保育所など251施設にボランティアを派遣し、絵本の読み聞かせ、パネルシアターなどのおはなし会実施 ボランティア派遣回数660回(前年度比7.7%増) 	○
	<ul style="list-style-type: none"> ・各区における絵本展開催支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本展開催に向けた支援回数の増 	<ul style="list-style-type: none"> 絵本セットや面展台などを貸出し、絵本展開催を支援 支援回数55件(前年度47件) 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・OneBookOneOSAKA事業の継続を目指した実行委員会の発足と関連イベントの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会発足 ・世代間交流事業等関連イベントの参加者数増 	<ul style="list-style-type: none"> ・11月に実行委員の募集を開始し、12月に実行委員会が発足 ・ボランティアとの協働により関連イベント実施 イベントの参加者数約6,500人(前年度6,200人) 	○

3. 効率的な運営体制の確立

効率的で効果的な図書館の管理運営の推進

取組項目	具体的取組	指標・目標値	実施状況	評価
人材育成の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・司書の専門性向上と人材育成の充実に必要な研修等の実施 ・外部研修への司書の派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修参加者数増 ・外部研修への派遣回数維持 	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員を対象とした研修：計9回実施 ・担当者別研修：計25回実施 ・府立図書館、文部科学省、国立国会図書館等主催の外部研修に司書を派遣 延73名(前年度延68名) 	○
自主財源の確保及び経費の節減	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな財源確保や運営費の節減を図るための図書館施設や広報物を利用したの広告事業への取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな財源の確保 ・新たな広告事業実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・バナー広告、パンフレットラック設置による収入の増加 ・印刷物、モニター、周辺地区への広告募集については、応募がなかった 	○
図書館事業に関わる成果(アウトカム)の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見箱の設置と、主な意見に対する回答 ・利用者アンケートの実施 ・自動車文庫利用者アンケートの実施 ・講習会・講座受講者アンケートの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種アンケート結果の実施 ・分析結果の公表 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年3/26～28 中央図書館で実施した利用者アンケート結果を公開 3/25～4/8 中央図書館で利用者アンケート実施 ・平成24年4月(一部の巡回場所では5月)巡回時に「大阪市立自動車文庫利用に関するアンケート」を実施、結果を公開 ・中央図書館における大阪講座、ビジネス講座での受講者アンケート実施 	○
次年度のシステム移行に伴う、業務内容の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・資料収集・整理業務を見直し、業務改善の検討 ・図書館カードの運用改善検討 ・利用サービス内容の改善検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度内の運用方針見直しとりまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・多言語の一元管理や発注サイクルの見直し等を検討し、仕様書に反映 ・図書館カードの運用、貸出冊数等利用サービス内容について、他都市調査や現状分析を行い、検討会議を5回開催して方針をとりまとめた 	○
市立中央図書館における業務委託内容の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・委託業務の拡大の余地の検討 ・一層の効率化に向けての業務遂行の流れの整理 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度民間委託拡大の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 中央図書館において、資料の受入業務や図書館事業にかかる一部業務等を従来の委託業務に追加することとし、作業スペースの改変やマニュアルの変更などを行った 	○